

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

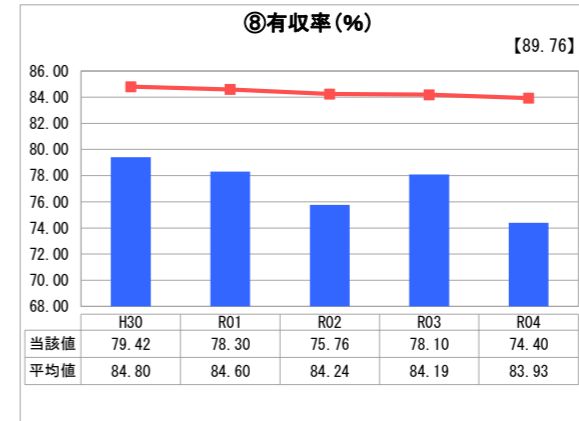
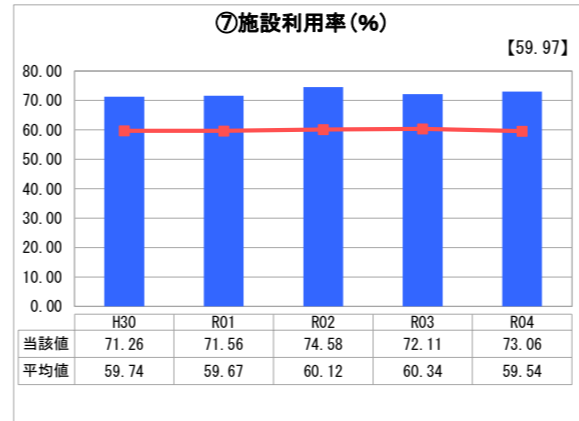
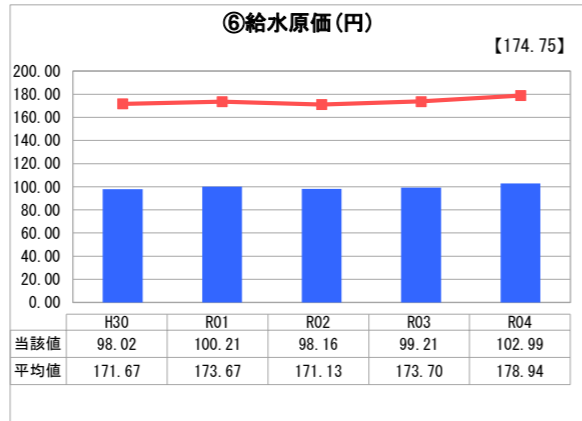
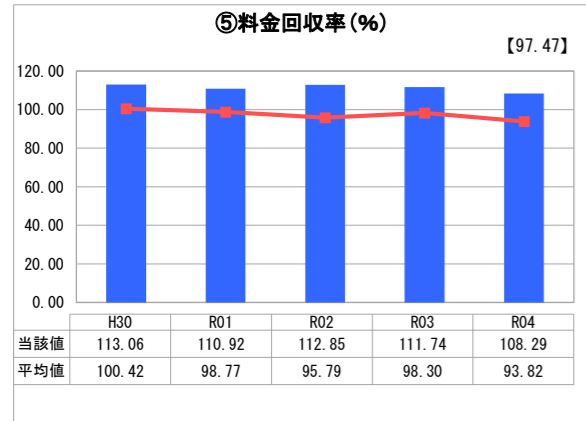
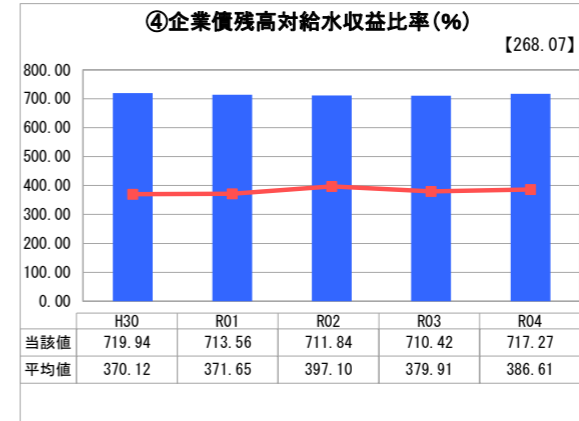
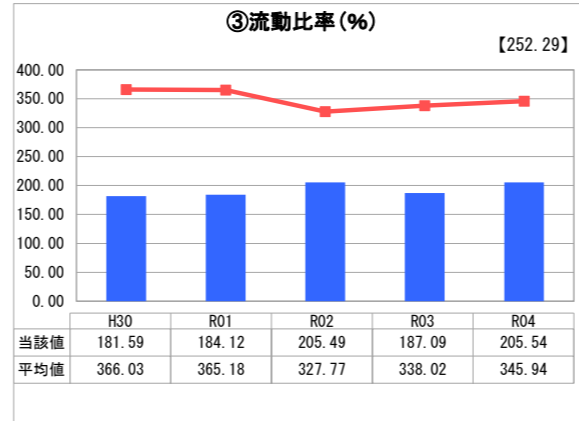
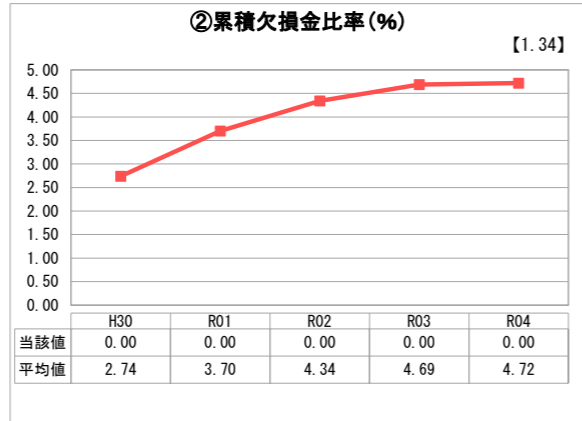
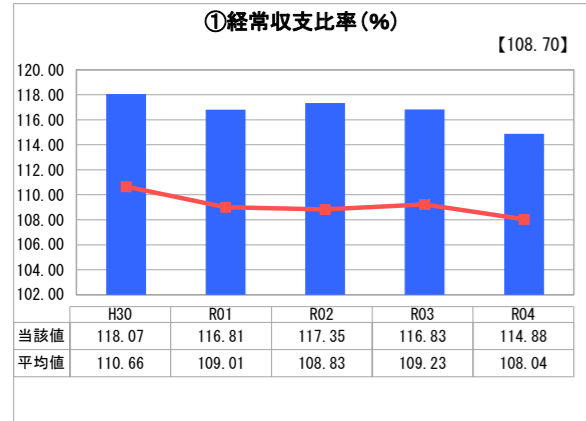
高知県 南国市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	46.36	87.16	1,660	

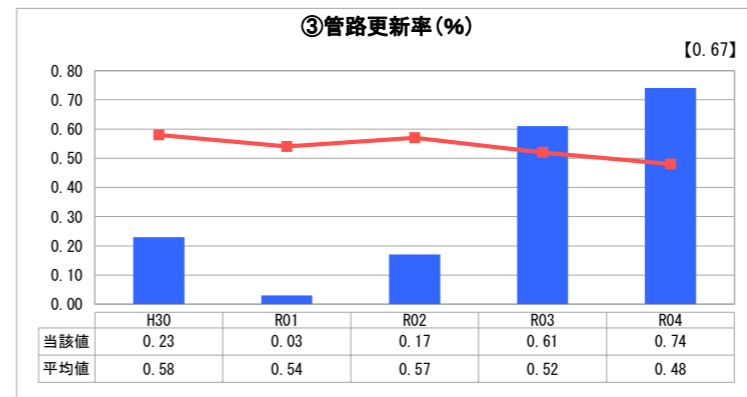
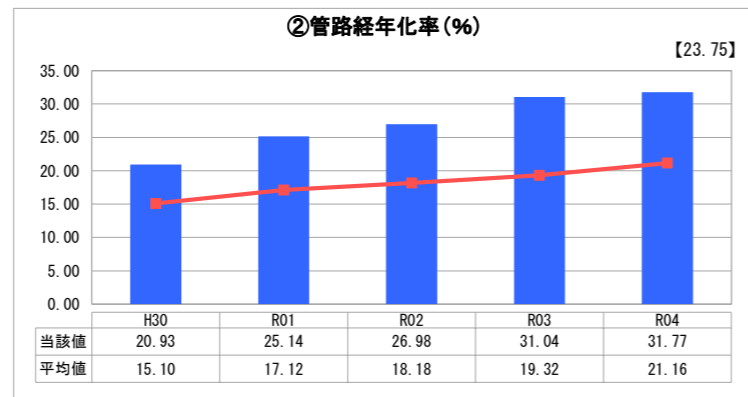
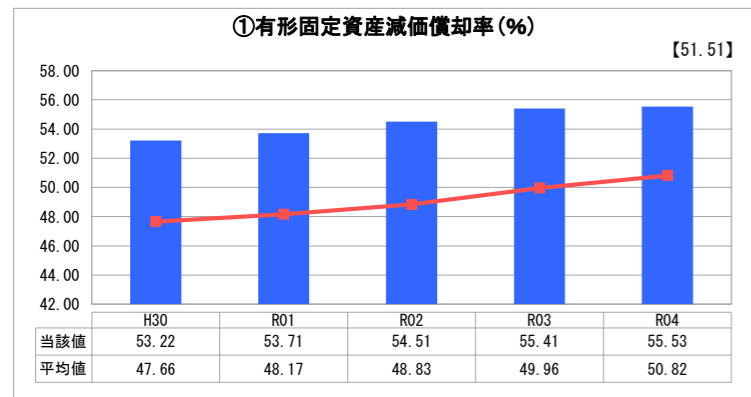
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
46,328	125.30	369.74
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
40,156	34.95	1,148.96

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

当市の人口減少と比例して給水人口も減少傾向にあります。中心市街地等における宅地開発などの影響により営業収入は横ばいの状態であったため、物価高騰で経費が増大する中でも水道料金を据え置くことができました。経常収支比率及び料金回収率はいずれも100%を超え平均以上の数値であることから、現時点での経営状況は概ね良好な状態にあると言えます。

また、給水原価が類似団体平均値と比較して大幅に低いことから経営の効率性は高いと考えています。

一方で流動比率は低く、企業債残高対給水収益比率は大幅に高くなっており、給水需要の縮小が見込まれる状況下において、今後企業債の償還費用が経営の圧迫要因となることが懸念されます。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率と管路更新率の指標より、施設の更新の遅れから経年化が進行しており、有収率を下げる要因になっていると考えられます。今後、基幹管路等の耐震化を最優先で進めるとともに、アセットマネジメント(資産管理)実施計画を策定し計画的に施設の更新を進めていくことにしています。

### 全体総括

給水需要が縮小する状況下でも必要な建設投資や耐震化を進めていくために、今後は企業債の発行が増えていく見込みです。令和5年度に経営戦略を見直します。将来世代の負担が過重とならないよう、適正な料金水準や改定時期等について検討を進めます。